

# 北九州まちづくり応援団株式会社

## I 法人の概要（平成 29 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区魚町二丁目 2 番 11 号
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 原田 康
- 4 基本財産 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円（出資の割合 3.1%）
- 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	32 人	0 人	0 人	32 人

## II 平成 28 年度事業実績

小倉都心地区の中心市街地の賑わい創出のため、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④「サンリオ小倉ビル」管理事業の 4 つに絞り、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に取り組んだ。

北九州市からの指定管理事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、小倉城の入場者数が平成 27 年度に引き続き大幅に増加し、対前年度比 122%の年間 18 万 6 千人超の来場があった。また、小倉城と小倉城庭園を連動させたイベントや企画展を開催することにより、小倉城庭園の入場者数も対前年度比 120%と、横ばい傾向であった過去数年とは異なり増加傾向に転じた。これらにより、入場料収入ならびに売店売上も予算を大きく上回り、最終損益の改善につながった。

なお、入場者の属性では海外からの入場者数が小倉城・小倉城庭園ともに対前年度比で 2 倍以上の伸びとなっており、特に韓国からの入場者数は定期便の就航（昨年 12 月）を契機に、それまで以上の伸びになった。

共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業については、概ね予定通りの活動ができ、ほぼ予算通りの利益が確保できた。

サンリオ小倉ビル管理事業については、1 階テナントの「カルディー」の来店者が引き続き順調に推移していることから安定的な賃料を得ることができた。2 階テナント「ママトモ魚町」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設としての認知 PR 活動を行ってきた結果、来場者は対前年度比 122%と増加した一方、3 階会議室を利用した女性向け講座が減少したことなどにより有料託児人数が減少したため、独自の子育て支援講座などを 1 割以上増やして有料託児人数の増加に努めた。

なお、本ビルの賃借に当たり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金 1,600 万円と銀行からの借入金により調達したが、借入金については、予定通り返済を進めており、平成 28 年度末の借入金残高は 603 万円となっている（返済完了は平成 34 年 9 月末予定）。

### Ⅲ 平成28年度決算

#### 1 貸借対照表

平成29年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【59,601,376】</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>【23,621,251】</b>
現 金	1,948,863	未 払 費 用	14,520,160
預 金	46,611,903	未 払 法 人 税 等	1,764,200
商 品	2,750,427	預 り 金	2,383,091
貯 蔵 品	2,565,214	未 払 消 費 税	1,953,800
前 払 費 用	204,200	預 り 敷 金	3,000,000
未 収 入 金	5,520,769	<b>【 固 定 負 債 】</b>	<b>【6,032,000】</b>
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【8,839,650】</b>	長 期 借 入 金	6,032,000
（有形固定資産）	（5,769,650）	<b>負 債 合 計</b>	<b>29,653,251</b>
建 物	3,688,023		
建 物 附 属 設 備	2,081,627		
（投資その他の資産）	（3,070,000）		
投 資 有 価 証 券	60,000	<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>【38,787,775】</b>
出 資 金	10,000	資 本 金	32,000,000
敷 金	3,000,000	（利益剰余金）	（6,787,775）
		その他利益剰余金	6,787,775
		繰越利益剰余金	6,787,775
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>38,787,775</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>68,441,026</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>68,441,026</b>

## 2 損益計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日 (単位：円)

科 目		金 額	
【 売 上 高 】			
事業収入金		54,730,071	
小倉城関連売上		224,902,368	279,632,439
【 売 上 原 価 】			
期首棚卸高		3,067,399	
小倉城関連売上原価		12,981,839	
仕 入 高		42,933,634	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊		58,982,872	
期 末 棚 卸 高		▲2,750,427	56,232,445
	売 上 総 利 益 金 額		223,399,994
【販売費及び一般管理費】			216,197,448
	営 業 利 益 金 額		7,202,546
【 営 業 外 収 益 】			
受 取 利 息		900	
雑 収 入		1,236,309	1,237,209
【 営 業 外 費 用 】			
支払利息割引料			81,490
	経 常 利 益 金 額		8,358,265
	税引前当期純利益金額		8,358,265
	法人税、住民税及び事業税		1,700,000
	当 期 純 利 益 金 額		6,658,265

#### IV 平成29年度事業計画

前年度に引き続き①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業の3本柱で利益を生み出し、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に取り組む。

指定管理事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、小倉城において前年度までの好調な入場者数増加の流れを維持すべく、城内・城外での集客イベントを実施するとともに、小倉城庭園においても、小倉城との連携をより密にし、入場者増と認知向上を図る。

共通駐車券事業については、新規の活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRツールについての研究を行う。

賑わいイベント事務局事業については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局の受託を目指し、併せて独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会の開催を予定している。

サンリオ小倉ビル管理事業については、ビル所有権が第三者に売却されたことにより、新所有者とビル賃貸契約の更新に係る協議を進めてきたものの、現賃貸契約が満了する本年9月末をもって終了することとなったため、関係者との交渉・調整を引き続き行う。

これらの結果、第13期の売上高は2億7,682万円を見込んでおり、営業利益については前年度並みの810万円を計上できる見通しである。一方で、「サンリオ小倉ビル」管理事業の整理に伴い発生する営業外損益並びに特別損失により、経常利益については約10万円を見込んでいる。

なお、損失額は現時点で可能性のあるリスクを全て盛り込んでいるものの未確定であるため、今後関係各所との交渉において損失額の圧縮に最大限努める。

#### V 役員名簿

平成29年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利島康司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	原田康	北九州商工会議所副会頭
取締役	中村渉	北九州商工会議所参事
取締役	甲山博美	小倉中央商業連合会顧問
取締役	鮎川典明	北九州市小倉北区長
取締役	原賀一博	
監査役	庄山和利	西日本鉄道株式会社取締役